

山梨県歯科医師連盟**連盟ニュース 第47号**

□発行

山梨県歯科医師連盟 甲府市大手 1-4-1
TEL : 055-252-6481 FAX : 055-253-0854□発行人 諸角三千夫 HP : <http://ydca.jp>

□編集人 諸角三千夫 馬場 康二

山梨県歯科医師連盟機関紙

平成 27 年度 第 1 回評議員会開催される

平成 27 年 6 月 25 日 (木) 山梨県歯科医師会館 3 階大会議室において諸角会長は初めに、日歯連盟評議員会での高木会長の挨拶に触れた。「今回の東京地検特捜部の家宅捜索を受け、本来ならすぐに現状報告をしなければならないが、捜査中でコメントを差し控えなければならない、新聞等の情報しか入らず、情報が錯綜している。会員の先生方には、ご迷惑ご心配をお掛けしている事をお詫びします。砂川選挙については 4 月より新しい選挙本部を立ち上げ、後援会活動を始めたが、こういう状況では自粛という形をとらせて頂いている。」と、挨拶の中で説明された。

また、日歯連盟報告では、諸角会長はアドバイザーボード (弁護士) の話として、法解釈においては物事は形式と実態の二面から見なければならない。まず形式は整っており合法である。実態の解釈に違いがあると思う。実態を後援会 (西村、石井両中央後援会) は日歯連盟の内部の組織であるので本部から支部への交付金と見ると、交付金には上限はなく合法と言える。寄付の量的制限とみるかどうか、特捜部が違法とみなすかどうかは、弁護士、検事の判断の違いがある。マスコミの一部に政治資金収支報告書の虚偽記載とあるが、お金の流れは書いてあり虚偽記載には当てはまらない。いずれにしても早期に判断してほしいとも述べた。(なお、事件の詳細がわかり次第連盟ニュースでお知らせいたします。)

議事に於いては、次の 2 議案が可決された。初鹿副会長の“閉会のことば”により評議員会を終えた。

第 1 号議案 平成 26 年度山梨県歯科医師連盟収入・支出決算 (案) の承認を求める件

第 2 号議案 山梨県歯科医師連盟選挙管理委員の選出議決を求める件

山梨県歯科医師連盟 新役員について

次のとおり役員を選定致しましたので、ご報告申し上げます。任期につきましては、平成 27 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日です。

会 長	諸 角 三千夫
副 会 長	一 瀬 明
副 会 長	初 鹿 義 和
理 事 長	篠 原 昭 夫
副理事長	佐 藤 菊 香
副理事長 (会計)	鶴 田 好 幸
理 事 (庶務)	藤 卷 猛
理 事	古 屋 延 明
理 事	淡 路 敬 一 郎
理 事 (広報)	馬 場 康 二
理 事	小 泉 直 也
理 事	舟久保 宏
監 事	跡 部 芳 彦
監 事	内 藤 敏 雄

天空海闊

副理事長 鶴田 好幸

1995 年の年初に阪神淡路大震災が起こった。その 2 カ月後にはオウム真理教による地下鉄サリン事件が勃発した。更に個人的には腎臓結石により救急車により搬送される事態が発生したこともあり、暗澹たる思いで日々過ごしている頃、野茂英雄投手がアメリカ大リーグに挑戦し、トルネード投法により大活躍した。このことがどれ程勇気付けられ、前向きな姿勢になれたことかと今でもはっきりと思い出すことができる。

あれから 20 年、現在でも当然ながら諸問題は山積し、TPP はどうする？ 国民皆保険制度の将来は？ ギリシャはどこへ行く？ 中国の経済は大丈夫なのか？ 福島原発事故の処理は進むのか？ 等々頭を抱えたくなくなってしまいが、そんな時にワールドカップでの『なでしこジャパン』の活躍は萎えそうな気持ちを鼓舞し、改めて仕事に取り込むことができた。本当にありがたいものでした。

観衆を魅了し、リフレッシュさせるのもスポーツの大きな長所なのだとつくづく感じ、今日も難抜歯をがんばっている。